

日本学術会議主催 学術フォーラム
持続可能な社会を創り担うための
教育と学習のチャレンジ

2022年6月5日(日) 13:00~17:00

場所：日本学術会議講堂（オンラインを併用）

お申込み：日本学術会議事務局学術フォーラム担当 <https://form.cao.go.jp/scj/opinion-0110.html>
(参加費無料) TEL: 03-3403-6295



企画：日本学術会議フューチャー・アースの推進と連携に関する委員会 持続可能な発展のための教育と人材育成の推進分科会
後援：Future Earth 国際事務局日本ハブ、Future Earth 日本委員会、地理学連携機構、日本ESD学会、ESD活動支援センター、
NPO法人ESD-J、公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター

持続可能な世界を目指す国際プログラムであるフューチャー・アース、SDGs（国連持続可能な開発目標）、ESD（持続可能な発展のための教育）などの活動が活発化していますが、それらの推進には学術と社会、それに教育、特に学校教育との連携が重要です。カリキュラムマネジメントと評価、地域における学習の実践、学校と地域の連携などについての議論も深める必要があります。これらについて研究者、現場教員（生徒も含む）などからの報告を参考に、参加者全員で多角的に考えましょう。研究者や教員だけでなく、中高生、大学生、一般の皆様も是非ご参加ください。

総合司会：福士 謙介（日本学術会議連携会員、東京大学未来ビジョン研究センター教授・副センター長）
窪川かおる（日本学術会議連携会員、帝京大学先端総合研究機構客員教授）

13:00 開会挨拶・趣旨説明

水見山幸夫（日本学術会議連携会員、北海道教育大学名誉教授）

13:15 第I部 持続可能な社会に向けた学術・社会・教育の連携

・ 13:15 「フューチャー・アースのチャレンジ」

春日 文子（日本学術会議連携会員、国立環境研究所特任フェロー／Future Earth 国際事務局日本ハブ事務局長）

・ 13:30 「SDGsの達成に資するESD for 2030」

及川 幸彦（奈良国立大学機構・奈良教育大学准教授）

・ 13:45 「ESDをめぐるこれまでの進展と今後の展望」

鈴木 克徳（NPO法人ESD-J 理事）、横田 美保（NPO法人ESD-J 事務局長）

・ 14:00 「ESD/SDGsのカリキュラム開発」

小金澤孝昭（日本学術会議特任連携会員、宮城教育大学名誉教授）

・ 14:15 「海の学びのカリキュラム開発」

日置 光久（日本学術会議連携会員、希望が丘学園統括顧問）、小熊 幸子（笹川平和財団海洋政策研究所研究員）

14:30 休憩

14:40 第II部 持続可能な社会を創り担うための教育と学習の実践

・ 14:40 「津波の授業モデルの開発と実践」

丹羽 淑博（日本学術会議特任連携会員、前東京大学大学院教育学研究科附属海洋教育センター特任准教授）

・ 14:55 「水害防災教育カリキュラムの開発～吉野川市の実践～」

川真田早苗（北陸学院大学子ども教育学科教授）

・ 15:10 「ESDカリキュラムと評価～大曲南中学校の実践～」

島田 智（秋田県大仙市立大曲南中学校校長）

・ 15:25 「地域全体で進める持続可能な社会の創り手の学び～大牟田市の実践～」

安田 昌則（前大牟田市教育委員会教育長）、高倉 洋美（大牟田市立宮原中学校教頭）

・ 15:40 「学校と地域社会の連携～飯田市の実践～」

小玉 敏也（麻布大学生命・環境科学部教授）

16:00 ディスカッション

ディスカッション司会：山口しのぶ（日本学術会議連携会員、東京工業大学環境・社会理工学院教授）

嵩倉 美帆（前東京大学大学院教育学研究科附属海洋教育センター特任研究員）

16:55 閉会挨拶

鈴木 康弘（日本学術会議連携会員、名古屋大学減災連携研究センター教授）

17:00 閉会

内容に関する問い合わせ：fukushiscj@gmail.com（東京大学未来ビジョン研究センター 福士謙介）